

平成28年北栄町議会議員研修報告書

1. 日 時	平成28年8月4日～5日 1泊2日
2. 場 所	全国市町村国際文化研修所
3. 内容	<p>1 「医療機関・住民とともに地域医療をさせる取組」 （自治医科大学地域医療学センター長）</p> <p>2 「地域まるごとケア（医療の現場から）」 （東近江市永源寺診療所 所長）</p> <p>3 「介護予防の公的責任と自治体」 （埼玉県和光市保健福祉部 部長）</p> <p>4 「地域を健康にするまちづくり-Smart Wellness City-」 （筑波大学大学院人間総合科学研究科スポーツ医療専攻教授）</p>
4. 意見・感想	<p>1、鳥取県出身で最初の赴任先も日南病院ということで、地域の医療の現状や問題点を知り尽くし、改善方法などに真剣に取り組まれていた。総合病院対策的な話だった為、総合病院がない北栄には、取り入れるところは少ないと思う。</p> <p>2、入院はしないで臨終まで自宅でという人の願いを叶えている素晴らしい診療所である。地域に根差した活動で、医療、介護、食事から子供たちとのふれ合いなど、地元の専門家がサークルを作り、臨終までの生きがいを与えていることは、人として目指すべき内容であった。感動した。</p> <p>3、国が和光市から学びなさいという、誇りを持って自信満々に政策準備、実施をして低い介護料という数字の結果を出していた。発言の中で団塊の世代が全員75歳を迎える2025年の準備を既にやっていないと勝ち組負け組の自治体が顕著に表れるという言葉に同調、納得をした。</p> <p>4、コケない体を作ること、老後に骨折をすると寝たきり、その後アルツハイマーになりやすく、臨終という人がとんでもなく多い。予防の為に年齢を重ねると弱くなる骨のケアに筋力をつけることが大事である。確かにその通りである。「こけないからだ講座」などの取組で北栄町も結果を出しているが、終着点はないと思うので、これからも貪欲に取り組んでいくべきである。</p>

